

井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会
第2回 学校運営部会

会 議 録

日 時	令和4年12月7日(水) 午後7時～午後8時15分
場 所	井泉公民館 講堂
委 員	石川部会長、平野副部会長、金子副部会長、福島委員、澤田委員、細井委員、藤田委員、関根委員、三井委員、林委員、内田委員、櫻井委員、鳥海委員、齋藤委員、児玉委員、新井委員
事 務 局	須永教育総務課長、今成学校教育課長、小林教育総務課総務係長
会議の内容	1 開会 2 部会長あいさつ 3 議事 (1) 校名候補の選定方法について (2) その他 4 閉会

会 議 録

1 開会	司 会 (教育総務係長)	井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会 第2回学校運営部会を開会する。
2 部会長あいさつ	部会長	<石川部会長あいさつ>
3 議事 (1) 校名候補の選定方法について	司 会 (教育総務係長) 部会長	議事の進行については部会長にお願いします。 議事に入る。本日の会議の目的は、資料1の6ページから9ページまでの校名候補の選定方法について協議し決定する。 議事(1) 校名候補の選定方法について事務局からの説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	校名候補の選定方法についてである。(資料1) 前回会議において、校名は公募する、募集期間は2か月とすることを決定した。 他市の事例についてである。(資料2)

	<p>事務局が調べた市町では全て校名は公募、応募票数による勘案はなしとなっている。募集の範囲は、「市内外問わず誰でも」は行田市のみで、他は市内や学校区内などに絞っている。</p> <p>行田市の中央小・星宮小の例である。新しい校名は忍小学校と決定した。資料2にある募集要項で校名を募集し、校名候補を部会、準備委員会で候補を絞っている。</p> <p>久喜市の菖蒲中学校の例である。公募した校名候補を部会で3つに絞り、最終的に菖蒲中学校となった。</p> <p>熊谷市の成田星宮小学校の例である。こちらは元の成田小学校と星宮小学校の両方の名前を新たな学校名として使うことになった。こちらも公募し、校名候補を部会で絞り込み、準備委員会で1案まで絞り最終的に市に報告して決定した流れである。</p> <p>熊谷市の男沼小・太田小・妻沼南小の例である。こちらは、羽生市と同じく3校の再編成で現在進行中である。校名を募集し98案が出たところを、学校運営部会で9案に絞った状況である。</p> <p>杉戸町の東中学校と広島中学校の例である。羽生市と同じく令和7年4月に開校予定で現在進行中である。公募は杉戸町内在住の方に対して募集をしている。</p> <p>宮城県登米市の例である。公募は、該当の地域に在住している方及び該当の小中学校に通学している児童生徒とその保護者である。</p> <p>宮崎県西都市の例である。こちらは、5つの中学校を1つにまとめる、非常に大がかりな事例である。やはり公募を行い、部会で選定し最終的に準備委員会で絞り、最後は教育委員会で決定する流れである。</p> <p>校名公募の対象範囲についてである。</p> <p>対象は、市内外問わず誰でも応募可とする案である。</p>
--	--

	部会長	事務局の説明に対し、意見・質問を求めた。
	委員	市外の人たちにも募集を可とすることについて。ターゲットはどういった人を考えているのか。また方法は。
	事務局 (教育総務課長)	例えば、市ホームページに掲載し、市内の小中学校の卒業生や興味のある人に応募していただくことを想定している。 応募方法については、様々な手段で応募してもらえるよう、多くの意見がいただけるような方法で募集することを考えている。
	委員	現在、在籍している児童の家庭に対して、応募用紙を作り、配布して募集をすることは行うのか。
	事務局 (教育総務課長)	応募用紙の配布は行う。市内の方には広報紙での募集や学校を通じて応募用紙の配布を行う。広報には校名募集の記事を載せ、ホームページにアクセスできる QR コードの作成を考えている。
	委員	紙の媒体での配布もぜひ行ってほしい。
	委員	SNS での広報などは考えているか。ホームページとは違う広報手段で差別化になるのでは。
	事務局 (教育総務課長)	市の公式 YouTube チャンネルに動画を掲載し、募集を呼びかけることは可能である。
	部会長	校名公募の周知方法について、事務局からの説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	周知方法は、広報はにゅう、再編成だより、市ホームページやメール配信、羽生市公式 LINE、学校だより、回覧板を考えている。

委員	校名公募の周知方法について、再編成だよりの配布先が、小中学校、公民館等とあるが、各家庭には配られるのか。
事務局 (教育総務課長)	子どもには学校を通じて配布する。その他地域の方には回覧板で、再編成だよりだけでなく、校名募集のお知らせを単体で回覧板として回すことも考えている。
委員	やはり子どもに応募用紙が1枚、渡るようにしてほしい。
事務局 (教育総務課長)	応募用紙は、回覧板で全戸配布する。
委員	応募用紙が各家庭に必ず行くので、その方法がいいと思う。
委員	それであれば、学校から配布する必要はないか。
事務局 (教育総務課長)	自治会に入っていないなど、回覧板が届かない場合なども考えられるため、学校からは用紙を配っていただきたい。
委員	応募用紙の配布先に幼稚園、保育園も必要があると思う。
事務局 (教育総務課長)	今回の再編成だよりについては、いずみ保育園と第4保育所に配布をした。市内全部の幼稚園、保育園に配るかは、今後検討したい。
委員	小中一貫を目指すためにやっているのであれば、手子林小学校にも配るべきではないか。
事務局 (教育総務課長)	手子林地区には個別に配布しないが、御意見の中で配る方が良くなれば、対応は可能である。

	委員	今回の再編成だよりはどの範囲で配布しているのか。
	事務局 (教育総務課長)	井泉、三田ヶ谷、村君の3地区に回覧板で回覧した。学校はこの3校、幼稚園、保育園は、いずみ保育園と第4保育所に配布した。また、3地区の公民館と市役所にも置いてある。市ホームページにも載せている。
	部会長	では、対象範囲については、市内外問わず誰でも応募可でよろしいか。 <異議なしの声あり>
	部会長	校名公募の周知方法については、現在の案に動画配信を付け加えるのでよろしいか。 <異議なしの声あり>
	部会長	応募方法については、原案のとおりでよろしいか。
	委員	現在、応募フォームのようなものが普及していると思うので、方法の一つとして加えてみてはいかがか。
	事務局 (教育総務課長)	承知した。
	委員	応募方法は次のいずれかの方法とあるが、どの方法で応募してもよいか。絞らなければいけない理由があればしかたがないが。
	事務局 (教育総務課長)	どれでも大丈夫である。
	部会長	では、応募方法については、応募フォームを追加するでよろしいか。

		<p><異議なしの声あり></p>
	部会長	<p>応募条件について、事務局からの説明を求めた。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>応募条件についてである。前回の会議でも、議論になったところであるが、1つ目は、今回3校を再編成して、新たな学校に生まれ変わることから既存の井泉小、三田ヶ谷小、村君小は使用しないという応募条件を事務局案として出している。</p> <p>2つ目は、表記は漢字、ひらがな、カタカナで読み書きが容易な名称である。特にカタカナやひらがなを使用してはいけない決まりはない。他市の事例でもカタカナの名前が候補に入っていることもあり、応募については条件はつけていない。</p> <p>3つ目は、なぜその名前にしたのか、応募したのかという理由をつけていただきたいと考えている。校名に対する、その思いというのが審査で絞っていく中でも、重要な検討の材料となると考えている。</p> <p>4つ目は、新しい学校としてふさわしい名称で考えている。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>候補の絞り込みの基準についてである。</p> <p>1つ目は、同じ名称は、何件あっても1案とする。</p> <p>2つ目、1案に対する応募数は公表しないとする。</p> <p>3つ目は、前回議論となったところであるが、応募数の多い少ないは校名の選定に影響しない。先ほど紹介した他市の事例においては、全て影響しなかった。最後は、理由や思いをもとに候補を選定していただく。</p>
	委員	<p>中学校は西、南、東とある。小中一貫ということならば、単純に「東小学校」が考えられるが、行政として、そのような考えはあるか。</p>
	事務局	<p>考えていない。</p>

	(教育総務課長)	
	委員	単純に東小学校と決めてしまうのは、どうかと思った。それが公募で出てくれば話は別であるが。
	委員	校名候補の決定方法については、どのようになるか。
	事務局 (教育総務課長)	今後、案を提示させていただき、協議していきたいと考えている。
	委員	校名の応募条件について、現在の名前を使うかどうかポイントになる。使わないのであれば、なぜ使わないのかというロジックを説明したほうがよいのではないか。
	事務局 (教育総務課長)	事務局としては、3校対等で一緒になって新たな学校をつくることから、これまでの学校名は使わないと考えている。
	委員	新しい学校をつくるから旧校名は使わないなら、漢字は使っているのか。そういった問題もある。今の事務局の説明だと、なんとなく新しい学校だからという感じがする。
	委員	前に意見が出たかもしれないが、例えば、井泉小という名前で学校をスタートしたら、井泉小の子どもたちは自分たちが本流だと思えるようになる。だから使わないほうが良いと思う。
	委員	先ほどの意見は、ただ単に新たな学校を作るだけでなく、なぜ使ってはいけないのかの理由を詳しく書いて欲しいということだと思ふ。
	事務局 (教育総務課長)	例えば募集要項には、より詳しく旧校名を使わないことの理由を書くことはできる。

	委員	新しい学校としてふさわしい名称の条件については当然なので問題ない。
	委員	校名の想いや理由の記載がなかったら1案に認定されないということでよいか。
	事務局 (学校教育課長)	やはり、理想や願いといった文言が必要と思う。それがないまま、名前だけ聞いても、その思いが伝わってこない。もしそれが選ばれたときに子どもたち、地域に説明する時に理由が分からないまま、この学校名であると説明するのもおかしな話である。やはり記載は必要であることで、どうか。
	部会長	それでは応募条件(1)(2)(3)(4)については、決定してよろしいか。 <異議なしの声あり>
	部会長	候補の絞り込みの基準について、事務局からの説明を求めた。
	事務局 (教育総務課長)	候補絞り込みの基準についてである。 同じ名称が何件あっても1案とする。仮に同じ学校名が10件あったとして、案としては1つとする。 1案に対する応募数は公表をしない。応募数が多いから良い、少ないから悪いというものではなく、数は校名の選定に影響しないものと考えている。 そして、先ほどの応募条件にもある、理由や思いをもとにしながら校名を選定していきたいと考えている。
	部会長	事務局の説明に対し、意見・質問を求めた。
	委員	応募数について。なぜ公表しないかもう一度説明をお願いしたい。

事務局 (教育総務課長)	票の多い少ないというよりも、あくまでその名前として、それがふさわしいかどうかと考え、1案に対する応募票数はあえて出す必要はないと考えている。
委員	部会にも票数の公表はしないのか。
事務局 (教育総務課長)	部会には審査の参考情報として公開することはできる。
委員	今後、何候補まで選び、どのように絞り込んでいくか。
事務局 (教育総務課長)	<p>審査・選定については、次の段階で部会で決めていただくことになる。</p> <p>他市の事例においても、ある程度の数までは部会で絞ることが多い。絞った校名を準備委員会で最終的に1つにするか、2つにするかは、これからである。今後の流れとしてはそのように考えている。</p>
委員	やはり主体は小学生だと思う。子どもの中でも案を決めてもらうなど、子ども主体の選定がいいのではないか。
委員	例えば、この部会で絞り込んだ校名の中から、子どもたちにアンケートを取り、それを再編成準備委員会で子どもたちはこの校名を選んだと紹介し、選考の一つとするのはどうか。
事務局 (教育総務課長)	子どもたちにどのような方法で、関わってもらうかは今後また協議させていただければと思う。
委員	子どもたちに、校名を考えさせるのは必要だと思う。各学校で再編成についての授業をやっていただきたい。今は、子どもたちは再編成のイメージが湧

(2) その他	委員	<p>かないと思う。学習の機会をもっといただければ新しいアイデアが出ると思う。</p> <p>令和7年の4月から、いきなりみんなが一つの学校になるので、交流の行事などを考えたほうがいい。</p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>事務局としては、次年度以降に子どもたちの交流事業の計画は立てている。どのような行事であるかというのは、検討しているところである。</p>
	部会長	<p>それでは、候補の絞り込み基準については、決定してよろしいか。</p> <p><異議なしの声あり></p>
	部会長	<p>議事(2)その他について、意見・質問を求めた。</p> <p><特になし></p>
	事務局 (教育総務課長)	<p>本日の決定事項を確認させていただく。</p> <p>対象範囲については記載の通り決定した。応募方法については、追加で応募フォームを用意することとした。</p> <p>校名公募の周知方法については、記載の方法に加えて、応募用紙の全戸配布、子どもたちへの用紙の配布、それからお知らせ動画の作成、そして幼稚園保育園にも応募用紙を配布するということで決定した。</p> <p>校名候補の選定方法については、記載のとおりと決定した。3校の名前を使わない理由については、より詳しく説明する。</p> <p>候補の絞り込み基準については、記載のとおり決定した。</p>
部会長	<p>次回の会議について事務局からの説明を求めた。</p>	

4 閉会	事務局 (教育総務課長) 副部会長	<p>次回は、2月1日水曜日、午後7時から井泉公民館で開催する。</p> <p>本日の議事はすべて終了した。</p> <p><平野副部会長あいさつ></p> <p>井泉小学校・三田ヶ谷小学校・村君小学校再編成準備委員会 第2回学校運営部会を閉会した。</p>
<p>【配布資料】</p> <p>資料1 第2回学校運営部会</p> <p>資料2 校名決定に関する他市の事例</p>		